

海南市 公園施設長寿命化計画

平成 29 年 3 月



和歌山県海南市

1. 都市公園整備状況

(平成 28 年 3 月末時点)

管理対象都市公園の数	管理対象都市公園の面積	一人当たり都市公園面積
1	14.41ha	

2. 計画期間 〔平成 29 年度～平成 38 年度（10 箇年）〕

3. 計画対象公園

①種別箇所数

街区	近隣	地区	総合	運動	広域	風致	動植物	歴史	緩緑	都緑	その他	合計
			1									1

②選定理由

海南市中央公園では、約 3 割の施設が処分制限期間を超えて使用されており、既に劣化が顕在化しているものや劣化の進行が伺える施設が見られる。安全で快適な利用を確保するため、海南市中央公園を計画対象公園とした。

4. 計画対象公園施設

①対象公園施設数

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設
108	38	66	32	24	-	24

管理施設	災害応急対策施設	その他	合計
701	-	-	993

②これまでの維持管理状況

海南市中央公園は、指定管理制度による維持管理を行っており、グラウンド・体育館・テニスコートは海南市スポーツ振興グループが、わんぱく公園は指定管理者管理運営コンソーシアム海南市わんぱく公園がそれぞれ担当している。

指定管理者による日常点検や、委託業者による清掃、外部専門業者への定期点検等の実施により施設の適正な維持管理を図っている。

遊戯施設はこれらの管理に加え、国土交通省「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」及び社団法人 日本公園施設業協会（JPFA）が策定した「遊具の安全に関する基準 JPFA-S：2014」に基づき毎年 2 回の定期点検を実施している。

この定期点検により危険箇所が発見された場合、緊急度の高いものから補修を行ってきた。

③選定理由

計画の対象公園施設は、都市公園法第二条、都市公園法施行令第五条に従い公園施設として整備され、現在まで管理されているもので、日常的に公園利用者が利用する施設とする。

5. 健全度を把握するための点検調査結果の概要

予備調査及び健全度調査は、平成 28 年 8 月から平成 28 年 10 月までの期間実施した。
遊具を除いた 60 施設について、予防保全型管理の候補の施設として健全度調査を実施した。
遊具は、専門業者による点検を実施し、指定管理者が年 2 回実施している、定期点検結果も踏まえ健全度を判定した。

調査の結果は A（健全である）・B（修繕の必要は無いが定期的な点検が必要）判定は合わせて 36 施設（44.4%）、C（部分的に修繕が必要）・D（緊急に補修、改築が必要）判定は合わせて 45 施設（55.6%）であった。

6. 日常的な維持管理に関する基本的方針

維持保全（清掃・保守・修繕）と日常点検は、今後も指定管理者および市職員が実施し、公園の巡回・点検計画などによる維持管理計画を導入する。

公園施設の異常が発見された場合は、ただちに使用を中止し事故等を予防する。また、この時点で健全度調査を実施し、補修、もしくは更新を判定する。

一般施設等、土木構造物等、建築物等は、日常点検により劣化や損傷の早期発見に努めるとともに、定期点検を年 1 回実施し安全性の確保に努める。

遊具等は、日常点検及び年 1 回以上実施する定期点検により施設の劣化及び損傷を把握する。

7. 公園施設の長寿命化のための基本方針

公園施設の長寿命化対策は、「予防保全型管理」と「事後保全型管理」に区分して行う。

遊具の長寿命化対策は短期（H29～H31 年度）に優先して計画する。健全度判定で早急な「撤去・更新（改築）」等が必要と判断された施設については、具体的な工法を直近（平成 29～31 年度）で計画・検討する。その他施設については、健全度判定の低い施設や設置年度の古い施設から順に対策を実施する。

8. 都市公園別の健全度調査結果、長寿命化に向けた具体的対策、対策内容・時期等

※ 別添「公園施設長寿命化計画調書」（様式 1「総括表」、様式 2「都市公園別」、様式 3「公園施設種類別現況」）による

9. 計画全体の長寿命化対策の実施効果

今回長寿命化計画を策定した公園における 10 年間でのライフサイクルコスト縮減額は 2,910 千円である。